



徳島県におけるテレワークの取組

令和2年11月5日

徳島県人事課行政改革室 河原英治

1. 徳島県の概要
2. 徳島県テレワーク推進プロジェクト
 - (1) モバイルワーク
 - (2) サテライトオフィス
 - (3) 在宅勤務
3. 今後の取組



1. 徳島県の概要

◆徳島県の概要

人口：722,653人 (R2.7.1)
職員数：3,080人 (R2.4.1)



全国屈指のブロードバンド環境

◆葉っぱビジネス「いろどり」

テレワークの先駆け

▷ タブレット端末を駆使して
受発注（モバイルワーク）



◆サテライトオフィス進出

県内全24市町村のうち

▷ 14市町村に66社が進出



◆お試しサテライト

短期間各地域で体験

- ▷ 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス
- ▷ 太平洋を望むコワーキングセンター
- ▷ 江戸時代にタイムスリップ！旧造り酒屋を拠点に

2. 徳島県 テレワーク推進 プロジェクト

目標

- ワーク・ライフ・バランスの実現
 - ・業務の効率化・迅速化
 - ・質の高い行政サービスの提供 等
- 災害時における「業務継続能力」の向上

検討 (WG)

- ・勤務形態、サービス関係
- ・情報セキュリティの確保
- ・運用ルール、業務の抽出

ほか

- ・人事課 ・行政改革室
- ・スマート県庁推進課
- ・職員厚生課、管財課
- ・総務事務管理課 ほか

H26~

モバイルワーク

- ・現場で業務を処理
- ・視覚効果でわかりやすく
- ・ペーパーレスの促進
- ・災害時における活動

タブレット端末50台導入

H26~

サテライトオフィス

- ・移動時間の有効活用
- ・通勤時間の効率化
- ・業務の効率化
- ・災害時における連絡要員活動

県庁4階にサテライトオフィス開設

H27~

在宅勤務

- ・自宅から庁内LANに接続
- ・職員のワークライフ・
バランスの向上支援
- ・通勤時間の有効活用
- ・ペーパーレスの促進

育児・介護中職員から

スケジュール

	平成26～27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
モバイルワーク	<p>実証実験</p> <p>評価検証</p> <p>端末配布業務の選定</p> <p>利用要領の整備</p>					
		<p>本格運用</p> <p>普及・利用促進</p>				
サテライトオフィス	<p>実証実験(万代庁舎)</p> <p>実証実験(南部西部)</p> <p>評価検証</p>					
		<p>本格運用</p> <p>普及・利用促進</p>				
在宅勤務	<p>WG検討</p> <p>実証実験</p> <p>評価検証</p>	<p>職員アンケートを踏まえたテレワークの推進</p> <p>評価検証</p>	<p>フリーアドレス制導入、ペーパーレス化推進</p> <p>軽量PC導入</p> <p>本格運用に向けた制度設計</p> <p>評価検証</p>			
		<p>本格運用</p> <p>普及・利用促進</p>				

対象者拡大：全ての職員

実施状況

①モバイルワーク利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	1,604	2,805	2,975	3,216	3,844	4,703

②サテライトオフィス利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	992	1,050	1,326	1,397	1,760	947

③在宅勤務利用人数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
人数	—	(30)	86	211	211	167

(1) モバイルワーク

長期活用：事業を募集し、各所属に貸与
短期活用：イベント等の出張時

所属	主な用務
安全衛生課	食品表示適正化の推進に係る業務
監察評価課	県庁コールセンター連携外国語通訳業務
徳島県立総合看護学校	教育効果の向上
東部農林水産局<徳島>	農業改良普及指導用務、治山・林道関係業務
環境指導課	産業廃棄物適正処理推進業務
西部総合県民局 県土整備部<三好>	河川管理・道路維持管理業務、災害復旧事業
漁業調整課	漁業取締船「つるぎ」・「せんば」の運航、取締業務
東部県土整備局	災害対応、営業所調査、現場調査、竣工検査
西部総合県民局 県土整備部<美馬>	土木施設の管理等業務
消防保安課	消防保安課用務、消防防災航空隊用務

長期

- ・観光誘客、企業誘致のためのプロモーション活動
- ・農林畜産現場における「営農支援」「防疫対策支援」
- ・工事検査 など

55所属89台



タブレット端末で撮影した現場の状況を職場へ送信



- ・情報の即時共有！
- ・移動時間の有効活用！
- ・データ・書類の紛失予防！
- ・平時からの利用で
災害時に備える！

(2) サテライトオフィス

県内外 **9カ所**に設置したサテライトオフィスで出張中の職員が業務を実施



◎効果的な時間の活用を実現

- ・サテライトオフィスの活用により、従前の「移動に要する時間」を「業務が可能な時間」に転換！
- ・自宅から直接サテライトオフィスに勤務することにより、通勤時間が短縮され、「ワークライフバランス」の向上！



H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
評価検証	■課題 ・設置場所が少ない	●改善 ・県外拠点（東京・関西本部）へ設置	●改善 ・中央こども女性相談センター（徳島市）へ設置	●改善 ・自治研修センター（徳島市）へ設置	●改善 ・ニーズに応じた、新たな拠点の検討	

テレビ会議の積極活用！

審議会の委員もテレビ会議で会議に参加！



(3) 在宅勤務

対象者

- ◎ 知事部局に在籍する職員であって、所属長から承認を得た職員

実施場所

- ◎ 原則として、職員の自宅（出張扱い）
- ◎ 自宅にインターネット環境がない等の場合には、最寄りのサテライトオフィス

実施単位

- ◎ 原則、一日単位
- ◎ 勤務公署への勤務は週1日以上

職員負担

- ◎ インターネット回線等利用料金
- ◎ 自宅の光熱費
- ◎ 職場との連絡調整に要する電話料金

手順

- 1 前日までに「在宅勤務実施計画書」を所属長に提出し承認を得る
- 2 自宅への出張手続
- 3 貸与パソコン（シンクライアント端末）受取
- 4 SSL VPN接続の確立
トークン名、ワンタイムパスワードの入力
- 5 VDIへログインして業務開始
- 6 電話、メール、テレビ電話、チャット等で勤務開始の旨を連絡
- 7 終了の旨連絡
- 8 貸与パソコン返却
- 9 書面又は口頭により、復命
- 10 アンケートへの回答

スケジュール

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
WGでの検討	実証実験開始 ■課題 ・育児・介護中の職員しか利用できない ・職場の理解不足	職員アンケートを踏まえた取組の検証・改善 ●改善 ・対象者を全職員へ拡大 ●改善 ・テレワーク参加を推奨する「テレワーク・トライアル月間」を設定 ■課題 ・端末が重く、持ち運びが不便 ・書類の電子化が不十分	→ ●改善 ・テレワーク・デイに「特別協力団体」として参画し、150人規模の一斉テレワーク ●改善 ・軽量端末の導入 ・県庁Wi-Fi改革によるペーパーレス化を推進 ■課題 ・職場とのコミュニケーションの確保	本格運用 → ■課題 ・宅勤務を行うまでの手続きが煩雑 ●改善 ・システムを通じた申請の簡素化 ・在宅PCの貸出場所拡大 ●改善 ・タブレット端末の貸出拡大(2→12台)	普及・利用促進 ■課題 ・貸出パソコン以外からのリモートアクセスの導入検討 ・電子決裁の推進等職場のペーパーレス化推進	→ ●改善 ・自宅PCから県庁ファイルサーバーへの接続可能

3. 今後の取組

利便性の向上・利用促進

書類のペーパーレス化・共有化

時間や場所を有効に活用できる
柔軟な働き方を推進

災害時の業務継続性の向上

県内市町村・民間企業への普及



新型コロナへの対応

月別の在宅勤務実施者

令和2年	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
実人数	36	232	164	79	99	143	(422)
延人数	84	844	793	513	410	420	3,064

運用拡大・環境整備

< 2月下旬～ >

- ・専用アプリをインストールした個人所有のスマホを用いた在宅勤務を可能に
- ・貸出し専用PCを100台に拡充するとともに、県外事務所に必要台数を送付
- ・当日申請、連続実施も可能に

< 8月以降 >

- ・個人所有PCから庁内サーバーへの接続可能に（SBC方式、4000ライセンス）
- ・インターネット回線の増強
- ・業務に必要なソフトウェア、Web会議システムのライセンス購入

多様な働き方を県庁から実践！

～県庁オフィス改革～



ペーパーレス会議



フリーアドレス

導入前



立ち会議



導入後



システイーナ・ホール

徳島県鳴門市 大塚国際美術館

本日はありがとうございました